

守りたい豊かな自然

このように、黒河湿地には、シデコブシやヤチヤナギなど全国的に見て希少な樹木や植物があり、絶滅危惧種や準危惧種に指定されているものもあります。自然と共存していく中で、それぞれが個体群として生存していけるように、環境を整えたり保全したりしていかねければならぬと思います。

この湿地では、これから秋にかけて、シラタマホシクサを見ることができると、四季折々の植物を楽しむことができます。ぜひ皆さんも、足をお運びください。

田原市の自然は本当に貴重で、素晴らしいですね。



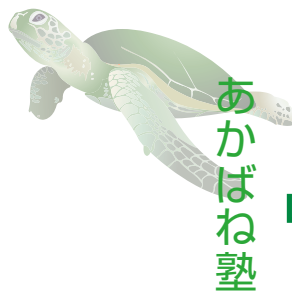
▲寒冷地の植物である落葉小木ヤチヤナギが、温暖な渥美半島で生息しているのは非常に珍しい

投稿 ウミガメが来る浜辺を守ろう

「エコ・オリエンテーリング」

市民発!

皆さんこんにちは。私たち「あかばね塾」は、平成4年からウミガメの調査保護活動やビーチクリーンアップなどに取り組んでいます。今回は、7月31日(日)に開催した「エコ・オリエンテーリング in 赤羽根」をご紹介します。



あかばね塾

「エコ・オリエンテーリング」は、海岸の清掃活動を主にしたイベントで、平成6年から行っています。このイベントは、「靴を脱いで思わず素足になって駆け出してみたくなる砂浜」の姿を取り戻すため、楽しみながら砂浜のクリーンアップを図ることを目的としています。今回は、県内から家族連れなど約80名が参加しました。

3kmを、チェックポイントを通りながら2時間かけてまわりました。海岸では漂着したさまざまなごみを拾い、集められたごみは2トントラックに約10台分。皆さんのおかげで、赤羽根の海がきれいになりました。ご協力ありがとうございました。また、オリエンテーリング終了後には、名古屋港水族館のご協力により、アカウミガメの放流会を行いました。大切そうにウミガメを海に放す参加者たちの姿が見られました。



●ビーチクリーンの様子



●5カ所設けたチェックポイント



●ウミガメの放流

広報サポーター ツイッターなう!



めだか

田原市広報サポーターの「めだか」です。常春の渥美半島から、田原市のイベント情報やオスメスポット、おいしい話題やどうでもいい話題などいろんなことを、いち市民の目線から楽しくつぶやいています。

おかげで、少しずつフォロワーさんも増えてきました。ぜひ皆さんも、フォローしてくださいね!



● ID 「KohoTahara」
● ツイッターアドレス <http://twitter.com/#!/KohoTahara>